

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成24年 9月21日 開会 10時00分 閉会 10時56分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

藤原浩司	馬越宏芳	簗戸利昭	水野忠範
川上泉	高田正弘	藤原清和	

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 副議長 井口勇

(3) 委員外議員 なし

(4) 説明員

副市長	三宅生一	建設経済部長	高村俊二
水道部長	山岡弘幸	建設経済部次長	田邊義博
水道部次長	安部弘和	定住促進課長	中原康夫
商工観光課長	武田吉弘	農林課長	谷昌彦
芳井支所長	笹井洋	美星支所長	小出堅治
下水道課長	森本謙一	都市建設課参事	加賀洋一
下水道参事	妹尾福登	農林課長補佐	井岡和浩
下水道課長補佐	飛田圭三	水道課主幹	吉本泰人
都市建設課管理係長	一安直人		

(5) 事務局職員

事務局長	川上勝三	事務局次長	渡辺聡司
主任	藤井隆史		

6. 傍聴者

(1) 議員 坊野公治、上野安是、西田久志、大鳴二郎、森下金三、河合建志
鳥越孝太郎、森本典夫、藤原正己、乗藤俊紀

(2) 一般 1名

(3) 報道 2名

7. 発言の概要

委員長（藤原浩司君） 皆さんおはようございます。

ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（三宅生一君） 改めまして、皆さんにおはようございます。

評論家の三宅久之さんが言われておりますのが、よく言われておる、色紙にも書かれておるといのが、納税、愛妻、墓参りというお言葉であります。納税は社会の一員としての義務、それから愛妻は家庭を大事にしようと、それから墓参りは脈々と流れている命のたすきリレーを先祖を敬おうという意味だろうというふうに理解をしております。彼岸の中日を迎えるに当たり、いま一度かみしめてみたいというふうにも思っているところであります。

きょうの新聞にあったわけですが、本市の主要の企業、かねてから希望退職180人を目標に募っていこうという中で、176人の方がこの希望退職の応募をされたということあります。いろいろな事情がありましようが、非常に苦渋の選択だったんじゃないかなというふうに心中察するところであります。そういった中で、きっと井原市の市民の従業者の方も、半数近くおられるんだろうというふうに思っております。井原市といたしましては、これから議会の皆様方にも理解を求めながらという前提ではありますが、この市民を何とかしたいという思いでおりますので、今後とも行政の推進に深いご理解をお願いしたいというふうにも思っております。

さて、この委員会ではありますが、いろいろなご意見を頂戴することがございます。私どももご質問等について、適切に簡潔にお話ができたらというふうに思っておりますので、本日はよろしくお願ひしたいと思ひます。

〈議長あいさつ〉

〈所管事務調査〉

〈有害鳥獣被害対策について〉

委員（藤原清和君） ここへ、鳥獣被害対策についてということで、所管事務調査の報告書ができ上がっておりますけれども、こういう形で今日まで取り組んできたということで、最終的には国や県のほうにもお願ひする事項が載っておりますんで、そのとおりで進めていけばいいんじゃないかなと思っております。今後は、そういった被害地の人たちとの膝を交えた話し合いなんかも、今後また出てくるんじゃないかと思ひますけれども、そういった方向でこれからも取り組んでいくということでもいいんじゃないかなと思ひますけれども。

委員（川上 泉君） 基本的には、藤原委員さんのおっしゃられるとおりでございます。会を重ねて、この件につきましては委員会なりに執行部のご意見もいただきながら、今日まで進めてまいりまして、一つの節目としてここに報告書ができるというところまでは参りましたが、市におかれましても、今回の最終日で決まりますけれども、エアガンの導入とか、さまざまな点での継続した防護柵へ対する予算措置であるとか、需要に対しては予算的な供給はずっととっていただいておりますということで、ありがたくも思っておりますけれども、ただ現場においては、なおまだ有害鳥獣はとどまるところを知らないというのが現状でございます。私たちの地域におきましても、井原線のところまで、もうイノシシの被害が出てくるという、通常では考えられないような状態になってまいりました。今後も委員会としては大変有害鳥獣対策に対しましては注視をしていく必要があるというふうに思っております。

委員（水野忠範君） 今、エアガンについて話が出ましたが、ここで予算化されておりますが、どういうものか、あるいは誰が使えるのか。そういった面について、ちょっと詳しく教えてください。

農林課長（谷 昌彦君） エアガンであります。今回購入するエアガンにつきましては、電動式のエアガンでございます。電気モーターの力でばねを引き、このばねの反発力を利用いたしまして、圧縮した空気でプラスチック製の弾丸を発射するものでございます。こちらを使いまして、市の職員によりまして、追い払い活動を行いたいと考えております。以上でございます。

委員（水野忠範君） とすると、一般の人の貸し出しはないわけですか。それともう一つ、連射ということですが、距離は。

農林課長（谷 昌彦君） 現在のところ、職員で対応していくことを考えております。発射の距離は30メートルから40メートルと聞いております。以上でございます。

委員（水野忠範君） 一般の方でも買えることは買えるわけですか。

農林課長（谷 昌彦君） 購入することはできます。

委員（水野忠範君） わかりました。

〈なし〉

委員長（藤原浩司君） 本件については、取りまとめを皆様にお渡ししておりますので、先ほど藤原委員、川上委員からの申し出があったように、話し合い等々も含めた中で、今後進めていくということで、閉会中の継続調査事件として進めていくことでよろしいでしょ

うか。

継続調査、このまま続けていきます。一応、これでまとめはしますが、それでよろしいですか。

委員（川上 泉君） 有害鳥獣対策につきましては、一応の区切りということで、もちろん継続には私2通りあると思うんです。所管事務調査として取り上げて、執行部の出席をいただいで、調査研究をしていく場合と、それからそもそもの建設水道委員会の担当でございますので、農林課の関係でございますので、議員個々においても引き続きの調査研究、そういったことをさらに行っていくということ、そして必要があれば、都度また提案等もさせていただきながら執行部の意見も聞くという形でいいのではないかなというふうに思います。所管事務調査としては一応の区切りをつけたほうがいいのかというふうに思っております。

委員長（藤原浩司君） 今、川上委員のご提案で、皆様の意見がございましたら。

委員皆様、どうでしょうか。

〈異議なし〉

副市長（三宅生一君） ちょっとご質問がありましたので、エアガンをちょっと見ていただけたらと思っております。

委員長（藤原浩司君） 副市長、ありがとうございます。

〈発議 有害鳥獣被害対策の推進に関する意見書の提出について〉

委員長（藤原浩司君） お手元に配付してある意見書案をお目通りいただきまして、委員の方より質疑、ご意見があればお願いいたします。

委員（藤原清和君） 読んだんですけども、もうこれで進めていくべきだろうというように思いますから、よろしく願います。取り扱いについて。

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原浩司君） ただいま可決となりました発議 有害鳥獣被害対策の推進に関する意見書の提出については、委員会の発議として提出することにいたしたいと思っております。

〈異議なし〉

委員長（藤原浩司君） なお、意見書案につきましては、字句その他整理を要するものにつきまして、その整理を委員長にご一任いただきたいと思います。

〈異議なし〉

〈市内企業への市外からの就労状況（定住促進）について〉

委員長（藤原浩司君） 事前をお願いしておりました質問事項について、執行部より説明をお願いします。

商工観光課長（武田吉弘君） 企業誘致に伴う将来的な見通しということでございます。

将来的な見通しを立てるのは非常に難しいことではございますが、まずは公的団地であります四季が丘工業団地について企業誘致を考えていきたいと思っております。また、井原市の優遇措置についても検討し、企業誘致に積極的に取り組んでまいります。

また、民有地につきましては、市内の不動産業者から工場適地の情報を収集しながら、オーダーメイド方式で取り組みたいと考えております。

以上でございます。

委員（高田正弘君） 先ほど、副市長のご挨拶でもありまして、私もこの質問をさせていただこうと思っておったんですけども、176人の方が退職希望に応じられたということで、市内の方も当然おられるわけです。そういったことで、たちまちこの方々に何とか再就職できるように支援をしていただきたいと思いますと思うんですけども、何か考えがございましたら教えていただきたいと思います。

副市長（三宅生一君） これから全体的にはまとめるということを考えておりまして、そういう中で、候補としては、176人のうち市民を対象としたいということでもあります。それから、市内の企業さんに再就職をするという中で、その受け入れの企業さんのほうに、何とか受け入れてほしいということ働きかけていきたいというものであります。これは行動という意味での働きかけと、あとは財政出動という意味の働きかけを考えております。具体的にはこれから詰めていきたいというふうに思っております。

委員（高田正弘君） 今議会で坊野議員が一般質問の中でそういった関連の話も質問をされて、市長は積極的に支援の方向で考えておられるということをご答弁されています。大変ありがたいご答弁であったなと感じてはおるんですけども、これからタカヤ株式を退職され

るという市内の方々にできるだけ早く手厚い支援をしていただきたいなと思います。もう少し具体的に、受け入れの会社に対しては何がしかの本当に経済的な支援をしていただく。それからまた、市の臨時職員なんかの募集でも、そういった方々を優先して雇用してあげると。例えば、納税の滞納の方々の滞納整理の臨時職員であったり、またそのほか、市役所の中で雇用しなきゃいけない臨時職員もあろうかと思います。そういった方々。それから、先ほどエアガンも見せていただきましたけども、市の職員が今手いっぱい仕事をしてますので、そういった方々の雇用もして、市の職員は仕事をしてますので、いざ有害鳥獣が出没した、すぐ来てほしいといった連絡が入っても、なかなか職員は仕事してますのでできませんから、そういったこともこういった方々を採用していただいて、もう一報があればすぐにでも飛んでいける、また通常のパトロールもする、そういったことも、こういった方々を採用すれば対応できるんじゃないかなと思いますので、いろんな方面で知恵を出して、今の方々、再就職を希望する方々に手厚い支援をしていただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。

副市長（三宅生一君） 非常にいいご意見をいただいたというふうに思っております。市の職員の臨時職員というのは、非常に数的にも今後出るとして限られているというふうにも思いますが、そういったことがあれば、ご希望があれば、積極的に私ほうも対応していきたいというふうにも思っております。

また一方で、今このリストラを苦渋の選択でやむなし希望された人というのは、臨時も含めてであります。いろいろな職種で不安というものも抱えておられますし、一番望まれるのは、正職員、正社員、これだろうというふうにも思っておりますので、まず一義的には市内の企業さんで受け入れてやろうと言われるところについて、受け入れやすい方法を考えていきたいというふうに思っております。

委員（高田正弘君） ありがとうございます。

委員（川上 泉君） 今のことに関連しますが、きょうの新聞にも出ておりますが、まずはタカヤ株式会社が人員整理をここでやむなしで行って、それでは、はいさよならでは決してないわけで、会社として新しい就職先を探し、お世話をするというのも書かれておられますので、市と行政側とタカヤ株式会社とミスマッチが起きてはいけないので、そこらあたりをよく情報交換をしていただいて、基本的にはタカヤがやっていくことですが、行政としてどういった支援ができるのか。お世話ができるのか。そこらはあちらの幹部の方とよく話し合っ、まずはそこからスタートしてほしいと思いますが、どうでしょう。

副市長（三宅生一君） まだはっきりした日程ということはありませんが、タカヤの経営陣と話をするというので、日程の調整をしている段階であります。なおかつこの事業については、タカヤのこういった希望退職、1つこれが引き金であります。タカヤに特化して

これをやろうということでは決してありません。今後、非常に厳しいこの経済状況の中で、頑張っておられる企業、なおかつリストラをせざるを得ないというところに至っている企業はほかにもあるのかなとは思いますが、これを一つのきっかけとして、他の企業もこういうことがあれば、それをタカヤさん以外のものについても対象とするということでございます。

あわせて、このリストラをされた方を受け入れてやろうと言われる企業さんも、決して受け入れられるだけの資力、体力を持っておられるかどうかは別として、やはり地域社会、市の経済活動の中で雇用を何とかしてやろうと言われる、そういったことでの賛同を得られるような、そういった環境といますか、できる限りの支援をしていきたいということであります。ただ個人に特化するということもありますので、非常に財政出動については慎重にしていきたいというふうにも思っております。

委員（川上 泉君） しっかりそういった対象の会社と情報交換をしながら、今後進めていってほしいと思います。終わります。

委員長（藤原浩司君） 先ほど来、リストラの件で意見が飛び交っておりますが、先ほど、商工観光の課長のご説明があったことに関してのご意見がございましたら、委員の皆さんよろしくお願ひします。

委員（高田正弘君） 先ほど、商工観光課長のお話の中に、オーダーメイド方式というのを言われました。これは矢掛町が積極的にやってる形で、以前にも井原市議会の中でオーダーメイド方式はどうだという一般質問もございました。そういったことで、オーダーメイド方式でやっていくんだということですが、非常にこれはいいと思います。特に、地蔵平の土地、今、市が取得しております。これを何とか、今から20年ぐらい前ですか、土地がうまくいかなかったという経過は私も知ってるんですが、月日がたって、もう買うてほしいという人もあるんじゃないかなと思いますので、あそこらあたり、もう一回注目をして、土地の取得をして、オーダーメイド方式で受け入れていただけるような企業があれば、ぜひともあそこをあのまま塩漬けにしとくのはもったいないんで、何とかあそこを何とかするという方向で考えてみられたらどうでしょうか。

定住促進課長（中原康夫君） 地蔵平の土地ですが、最近では平成22年ですか、一般質問がございました。その中でお答えしていることに、用地の中央部分が虫食い状態となっております。未取得ということで、これまでも借楽園の移転用地とかで検討を重ねてきましたが、ご存じのようにくぼ地という地形です。そのくぼ地の部分へ持って行って、残土が大量に必要であるということで、造成に多大な費用がかかるということで、造成したとしても、今の連続している部分で平地部分が約1ヘクタール程度しかとれない上に不成形なので、ちょっとリスクが大きいというふうにお答えしていると思います。その後、状況は変わ

っておりません。

委員（高田正弘君） よろしいです。

委員長（藤原浩司君） 今、ご質問がありましたオーダーメイド方式を取り入れるという形の中、この市内企業から就労、定住促進についての議題でございますので、閉会中のこれも継続調査事件として決議することにご異議はないでしょうか。

〈異議なし〉

〈観光行政について（高越城址）〉

委員長（藤原浩司君） 事前をお願いしておりました質問事項について、執行部より説明をお願いします。

商工観光課長（武田吉弘君） ご質問の北条五代をNHKに大河ドラマとして実現するため、全市的な盛り上げを図るための取り組みについてというご質問でございます。

平成25年度に市制施行60周年を迎えるに当たりまして、現在、市制施行60周年記念事業検討委員会におきまして、北条五代のシンポジウムの井原市での開催を検討いただいております。検討結果につきましては、11月ごろに出るとお伺いいたしております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

委員（川上 泉君） シンポジウムの開催に向けて検討しているということですが、不勉強でいけんのですが、どこで検討されて、あれは市民の中から選ばれた方々とか含めて、検討委員会とかというのがあったというふうに思ってるんですが、その中でやっておられるのでしょうか。これ全体の60周年記念事業全体、いろんなことがあると思いますが、ご提案が数多くあると思うんだけど、全部ひっくるめて11月に来年度どういうふうなことに取り組むということが出るということでしょうか。

商工観光課長（武田吉弘君） この60周年記念事業につきましては、市民の方から提案をいただいております。もちろん市の職員のほうからもこんな提案がないかということで提案をいただいております。まず、市の職員で60周年記念事業のワーキンググループというのを職員で設けておる組織もございます。また、民間の方に入っております検討委員会もございまして、これにつきましては15名の方に委員を依頼しております。それで、この60周年の検討委員会につきましては、6月22日に第1回をされておりました、2回、今度3回目を10月に予定されておるといふふうにお伺いしております。

以上です。

委員（川上 泉君） そうなりますと、職員のワーキンググループ、それと市民の中からの検討委員会、この2つの組織で検討されてるということになるのでしょうか。それはおかしい。1つの組織でないの、どうするんです。仕分けをしてやっておられるんですか。検討内容。

商工観光課長（武田吉弘君） 担当は総務課のほうでやっておるんですけども、いろいろ出た意見でこんなのが出とりますということで、市の職員で大まかに内容を見ているんだと思いますけれども、それを一般の検討委員会のほうにこんなのが出ておりますということで提示をさせていただいておるといふふうに理解しております。

委員（川上 泉君） 最終的には、この15名の委員の皆さんで、60周年記念事業は決定をされるということで理解すればよろしいですか。

商工観光課長（武田吉弘君） 15名の方の委員さんで決定いただいたものを、市長のほうに報告をいただくと。それから、決定ということになろうかと思えます。

委員（川上 泉君） 最終的には、もちろん市長査定がなければらにゃ決まらんというふうに、それはそうなんでしょうけれども、副市長もおられて、ご存じのように、この後、地元荏原まちづくりや高越城址顕彰会の関係の皆さんも来られて、この同じ議題を協議会として議論するわけですが、その席には副市長おられませんが、ぜひ前向きなご検討をお願いをしておきたいというふうに思います。

この件に関してはもうよろしいです。

委員長（藤原浩司君） 市制60周年に当たり前向きにご検討ということで、本委員会としても閉会中の継続調査事件としてこれを継続していきたいと思えます。

〈異議なし〉

〈その他本委員会の所管に属する事項〉

〈なし〉

委員長（藤原浩司君） ここで執行部の方には一旦ご退席願いたいと思いますが、執行部のほうで何かございますか。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして一言お礼を申し上げたいというふうに思います。

委員の皆様方には、終始いろいろな観点からご意見、ご提言を賜りましてありがとうございます。今後の市政に一つ一つ誠実に、この市政推進に役立てていきたいというふうに思っ

ております。本日はどうもありがとうございました。

委員長（藤原浩司君）　　なお、ご案内のとおり、午前11時より501、502会議室において、建設水道委員会協議会意見交換会を開催いたしますので、執行部の職員の方のご出席をお願いいたします。

では、とりあえずご退席のほうをお願いします。ありがとうございました。

〈議会への提案について〉

〈回答案について協議〉

〈1～3については決定〉

〈4については継続協議〉

〈議長あいさつ〉

委員長（藤原浩司君）　　以上で建設水道委員会を閉会いたします。

引き続き、11時より、時間がございませんが、501、502会議室で、建設水道委員会協議会意見交換会がありますので、皆さんお集まりください。